

佐賀県感染症発生動向調査速報

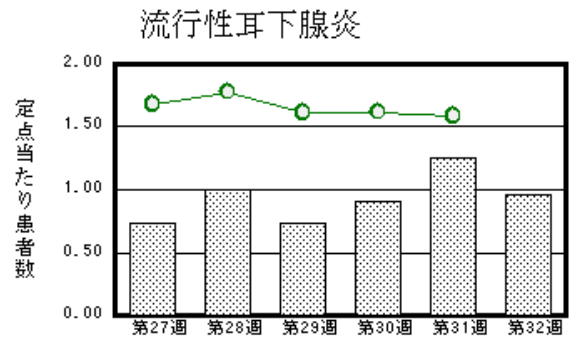
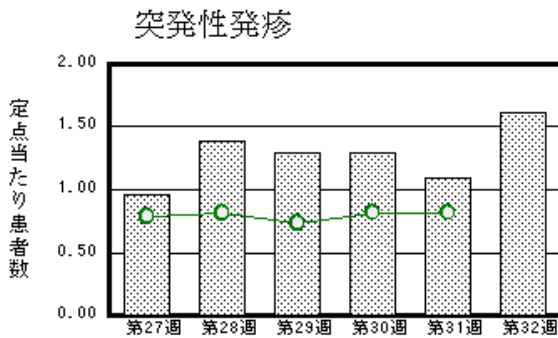
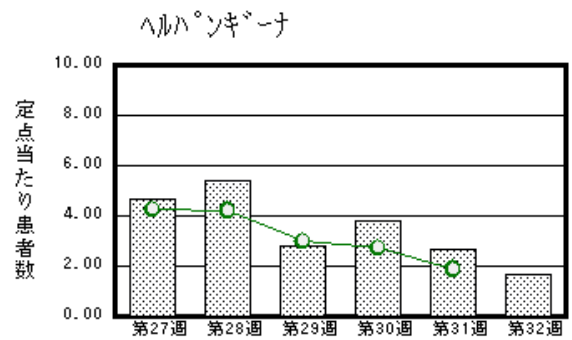
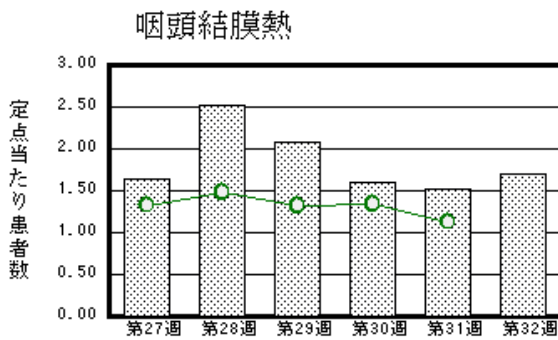
平成18年第32週 平成18年8月7日(月)～平成18年8月13日(日)

<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】** 咽頭結膜熱 (39名) ヘルパンギーナ (38名) 突発性発疹 (37名)
 流行性耳下腺炎 (22名) 感染性胃腸炎 (21名)
- 【咽頭結膜熱】**患者報告数は増加しました(35名→39名)。過去5年間の同時期と比較して患者報告数が多くなっています。ついで、手洗いや水泳後のシャワー励行等、感染予防に努めましょう。詳しくは佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。
<http://www.kansen.pref.saga.jp/kakotopics/kakotopics/intouketumaku0605/tem.html>
- 【腸管出血性大腸菌感染症】**鳥栖保健福祉事務所管内で4名(O26)の届出がありました。手洗いや食材の加熱等を心がけ予防に努めましょう。詳しくは佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。
<http://www.kansen.pref.saga.jp/o157/o157.html>



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2006年第30週号 (7月24日～7月30日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第30週 > 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	< 手足口病 > 例年7月中旬から下旬にかけて発生のピークを迎えることが多く、本年も現在が最も発生の多い時期であると考えられる < 腸管出血性大腸菌感染症 > 第30週の報告数は191例で、第30週までの累積報告数は1,500例である
・ 病原体情報	咽頭結膜熱患者から検出されているウイルス2006年 / アデノウイルス3型2006年 / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2006年
・ 速報	麻疹ワクチン既接種小児に発症した麻疹脳炎の一例
・ 海外感染症情報	< 今週は該当記事はありません >
・ 感染症の話	< 今週はお休みです >

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページを御覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症 (O26) (三類感染症)	
患者 (住所地)	1名(女兒) (鳥栖保健福祉事務所管内)	
無症状病原体保有者	3名	
感染原因・感染経路	調査中	
平成18年届出累計	7件14名(今週1件4名)	
平成17年	同 期	18件39名
	届出累計	31件59名

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 (五類感染症 (週報分))

平成18年第32週

平成18年8月7日(月)~平成18年8月13日(日)

定点種別 (定点数)	管轄保健福祉 事務所 病名						計	前週	全国 (第31週)
		佐賀中部	鳥栖	唐津	伊万里	杵藤			
小児科 (23)	インフルエンザ (39) インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)								198 0.05
	RSウイルス感 染症								59 0.02
	咽頭結膜熱	10 1.25	5 1.67	10 2.50	13 4.33	1 0.20	39 1.70	35 1.52	3377 1.13
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	2 0.25	6 2.00		1 0.33	1 0.20	10 0.43	14 0.61	2474 0.82
	感染性胃腸炎	8 1.00	2 0.67	1 0.25		10 2.00	21 0.91	33 1.43	8269 2.76
	水痘	5 0.63	3 1.00	1 0.25		5 1.00	14 0.61	8 0.35	3297 1.10
	手足口病	10 1.25	2 0.67	1 0.25		1 0.20	14 0.61	12 0.52	5040 1.68
	伝染性紅斑	6 0.75		1 0.25	1 0.33		8 0.35	5 0.22	1339 0.45
	突発性発しん	9 1.13	7 2.33	9 2.25	5 1.67	7 1.40	37 1.61	25 1.09	2453 0.82
	百日咳								29 0.01
	風しん								14 0.00
	ヘルパンギーナ	11 1.38	11 3.67	4 1.00	2 0.67	10 2.00	38 1.65	62 2.70	5554 1.85
	麻しん (成人 麻しんを除く)								19 0.01
	流行性耳下腺炎	11 1.38	4 1.33	2 0.50	4 1.33	1 0.20	22 0.96	29 1.26	4759 1.59
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								16 0.03
	流行性角結膜炎			1 1.00		1 1.00	2 0.50	2 0.50	833 1.31
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								9 0.02
	無菌性髄膜炎	1 0.50					1 0.17	2 0.33	70 0.16
	マイコプラズマ肺炎	5 2.50		1 1.00			6 1.00	6 1.00	182 0.41
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								2 0.00
	成人麻しん								1 0.00

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たりの患者数

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症)

平成18年第32週 平成18年8月7日(月)~平成18年8月13日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイ ルス感 染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科 基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん	
0~5ヶ月		0~5ヶ月								3			1			0~5ヶ月								
6~11ヶ月		6~11ヶ月		2		1		1		25			7			6~11ヶ月								
1歳		1歳		2		5	3	5		8			14		2	1歳								
2歳		2歳		12	1		3	1	1	1			8		1	2歳								
3歳		3歳		5	1	5	4		2				4		3	3歳								
4歳		4歳		6	2	3	3	4	1				1		6	4歳				1	1			
5歳		5歳		6	3	3		2	1				3		6	5歳					2			
6歳		6歳		3		1			1						2	6歳					1			
7歳		7歳		2		1	1		1							7歳								
8歳		8歳			2				1	1						8歳								
9歳		9歳													1	9歳					1			
10歳~14歳		10歳~14歳		1		1									1	10歳~14歳					1			
15歳~19歳		15歳~19歳														15歳~19歳								
20歳~29歳		20歳以上			1	1										20歳~29歳		1						
30歳~39歳																30歳~39歳		1						
40歳~49歳																40歳~49歳								
50歳~59歳																50歳~59歳								
60歳~69歳																60歳~69歳								
70歳~79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計		合計		39	10	21	14	14	8	37			38		22	合計		2		1	6			
前期計		前期計		35	14	33	8	12	5	25			62		29	前期計		2		2	6			
当期間/前	***	当期間/前	***	1.11	0.71	0.64	1.75	1.17	1.6	1.48	***	***	0.61	***	0.76	当期間/前	***	1	***	0.5	1	***	***	
増減数		増減数		4	-4	-12	6	2	3	12			-24		-7	増減数				-1				

***は前期計が"0"のとき

